



でんち い 電池を入れっぱなしにしている、で 出てきた水はなに

でんち なか えき で かん電池の中の液がしみ出る

かん電池が古くなったり、しめったところに長く置いておくと、中から水のようなものが出ていることがありますね。

これは、電池の中にある、塩化アンモニウムという液がしみ出てきたものです。

でんち かん電池のしくみ

かん電池は、まん中が凸に出ているところがありますね。これは炭素棒で+極になります。その反対がわの平べったいところは、亜鉛板でできていて、- 極になります。

炭素棒のまわりをつつむように、二酸化マンガと炭素のこな、塩化アンモニウムの水溶液をまぜたものがつめてあります。これを、塩化アンモニウムをしみこませた紙でつんでいるのです。

古くなったかん電池から、水のようなものがしみ出ていたのは、水ではなく、塩化アンモニウムの液だったのです。

塩化アンモニウムで金属がさびることがあるので、気をつけましょう。

(監修 小川 格)

